

編集 後記

第64巻第2号には、原著2編、公衆衛生活動報告1編、資料1編が掲載されています。原著の1編は自治体保健師が「活動の対象とめざす成果」について記述した内容を分析した研究です。日常どのようなことを意識して業務にあたっているかが明らかになった結果でもあり、示唆された課題について今後の実践が望まれます。

もう1編の原著と活動報告は、東日本大震災に関する研究です。原著の1編は福島県からの委託調査の一部で、被災者へ調査票を単に送付するだけでなく、電話を用いての支援が効果的であったことが明らかにされています。対象者と直接かかわることの必要性が示唆されたと思います。活動報告は震災後、養護教諭としてどのような支援活動を実践してきたか、一事例を丁寧に分析した結果が記されています。このように東日本大震災に関する論文が継続的に掲載されることは災害から時を経ての風化防止としても重要なことと思います。

資料は、新聞に掲載されたがん予防関連記事についての分析結果です。がん予防については多くの情報が様々な手段で人々に伝えられているものの、本論では新聞での掲載内容が十分でなく、偏りがあることが明らかにされています。今後、公衆衛生活動においてマスメディアをどのように活用していくか、その内容をどう精査していくのかなどが課題と思われれます。

本号に掲載された論文から、地道な活動の振り返り、取り組みの蓄積・評価が重要である一方、今、何が起きているのかをタイムリーにまとめていく必要性についても示唆が得られました。

さらに本号の活動報告は英文での投稿であり、海外への発信に向けても今後、多くの皆様にチャレンジして頂きたいと思います。もちろん邦文での投稿もお待ちしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(北岡英子)

次号予告 (第64巻・第3号)

総説

戦後20年間でなぜ日本の農村は劇的に健康改善を達成できたのか? : 健康の決定要因別政策介入に関する仮説の検討保健師による「活動の対象とめざす成果」の記述の実態……………湯浅資之
日本人の再生産年齢女性における血中ビタミンD濃度の分布……………高岡宣子, 他

原著

1歳半児の歯の萌出と15品目の食物摂取状況との関連……………上野祐可子, 他
青年期男性のSOC (sense of coherence) が自衛隊入職後の抑うつ症状に及ぼす影響……………小林 道